平成 26 年度「多摩テレビ放送番組審議会」開催概要

日　時	平成 27 年１月 28 日(水)　14 時 00 分～16 時 00 分	
会　場	パルテノン多摩第２・３会議室	
出席者	出席委員　金子春生　委員（会長） ８名　土方篤　委員（副会長） 伊藤淳　委員 鈴木誠　委員 萩尾文子　委員 福山隆彦　委員 真鍋和弘　委員 渡邉由貴子　委員 欠席２名　（溝口委員） （小林委員）	事務局　高松数則　社長 13 名　平山祥二　総務部長 椛島敬三　事業部長（兼お客様センター長） 会田保夫　営業部長 渡部達朗　制作部長 制作部　藤島喜一　係長 館岡秀輔　係長 小林心　主任 田中飛馬、岡崎圭子、 廣瀬威士、青山晋、 総務部　三宅徹平
配付物	・議事次第 ・平成 26 年度 放送番組審議会委員名簿 ・平成 26 年度 審議会説明資料 （別紙）多摩テレビ 放送番組審議会規則 （別紙）多摩テレビ 放送番組基準 （別紙）番組一覧 ＜資料＞多摩テレビ 総合パンフレット ＜資料＞たまテレ navi 平成 27 年１月号・２月号	
会長・副会長の選任		
議　事	⑴　事務局説明 Ⅰ 多摩テレビの概要 Ⅱ 放送番組審議会 Ⅲ 多摩テレビ放送番組基準 Ⅳ 平成 26 年度事業計画（一部） Ⅴ コミュニティチャンネル（地域情報番組）のあらまし Ⅵ 前回の審議会における主な意見への対応	
	⑵　コミュニティチャンネル自主制作番組ＤＶＤ（ダイジェスト版）視聴 〈レギュラー番組〉 ・ＴＴＶ－ＮＯＷ ・地域密着！た･ま･て･ば･こ ・スクール通信 ・生活筋力体操の時間 〈特別編成番組〉 ・ＪＲ南武線連続立体交差事業「全線高架化までの記録」 ・福島キッズ「リフレッシュ＆エコキャンプ＠恵泉」 ・伝統芸能を受け継ぐ人々「 穴澤天神社獅子舞」	

（議事）	⑶　質疑 ＜会長＞ ・これまでの説明に対する質問や視聴した映像についての感想があれば伺いたい。 ＜委員＞ ・視聴者の立場から、多摩テレビの地域に密着した情報というのは、たいへん楽しく拝見している。 ・「ＴＴＶ－ＮＯＷ」は、伊達さんの声やスピードが聞き取りやすく、とても見やすい。 ・「おでかけインフォメーション」は、お得な地域の情報や地域で楽しめる催しものを紹介しているので、これからもその様な物を中心に取り上げていただければと思う。 ・前回も申し上げたが、自分も多摩テレビに映ったことがあり、昨年も近所の方が映ったりしていて、別の機会で会った時に「映ってたね！」という感じで、会話が弾んだりもしている。 ・「スクール通信」は、子どもたちの非常に生き生きとした表情を取材していて、私たちもすごい元気をもらえる。 ・「地域密着！た･ま･て･ば･こ」は、非常にレポーターの方たちの感じが良く、大変楽しみにしている。テロップ表示が非常に効果的で、見やすくて分かりやすく、地図も表示されるなど非常に良い番組だ。 ・「生活筋力体操の時間」は、初心者向け、上級者向けに分けてやっていただいているので、とても配慮があるなと感じている。私はテレビから受ける影響が非常に大きいので、この様な情報を通じて、体操を見ながらも、女性の方の衣装も参考にしている。 ・「たまてばこ」のレポーターの方の衣装を見て「こういうのが流行っているんだな」と、一つの情報だけではなく、様々な情報を参考にしながら拝見している。 ＜委員＞ ・恵泉女学園を取り上げたドキュメンタリーを私は初めて見たが、素晴らしかった。 ・今、福島の子どもたちは、精神的に色々な面で苦しんでいる事があると思うが、その様な中で、大学側が子ども達を招いて、もてなすというのは大変素晴らしい。 ・福島でも野菜を作っているとは思うが、東京に来て、採ったり食べたりするということは、また違った感覚がするんじゃないかなと思う。 ・それを取り上げた多摩テレビは、素晴らしいと思う。 ・他のテレビ局で、地元の情報を細かく市民の皆さんに提供することは、なかなか難しい事だと思うので、ぜひこの様な取材は継続してもらいたい。 ＜委員＞ ・このニュータウンを含む多摩地域は、全国各地から移って来た方が多いので、その様な人達のためにも、ＴＤＮの番組は大変良いと思う。故郷を思い出すことが出来るし、内容もいい番組が多い。 ・ＴＤＮは、範囲が狭いかもしれないが、全国各地の情報が入るという点では、今後とも、視聴者のために工夫をして、続けてもらいたい。一番感じたのは、富士山一つをとっても様々な地域で様々な感覚を持っているなと感じた。

	＜委員＞ ・どの番組も興味深く拝見した。番組内容は、結果や成果にこだわるのではなく、「人々の心の動き」や「つながり」が感じられる丁寧で温かいものが伝わってきた。 ・個人的には「生活筋力体操の時間」が興味深い。体操番組は様々あるが、講師のスティーブ先生のキャラクターがとても面白い。これからも続くといいなと思っていたが、まだまだ続くようで良かった。 ・私が所属をしている芸術文化団体連合会の文化祭や、阿波踊りなども取材・放映していただいて有難い。 ・「おでかけインフォメーション」で、各地の「どんど焼き」の日程を事前にお知らせしていたが、イベントや文化祭といった催し物が集中する時期には、事前に「どこで、何があるのか」を伝えて頂きたい。 ＜委員＞ ・特別編成番組を作るのは、非常に大変なのではないかと感心しながら拝見した。 ・先程の説明の中で、３チャンネル目のコミュニティチャンネルが、去年の８月にできたという内容があったが、チャンネルスキャンをしなければ見られなかったと思う。視聴者の中には、チャンネルスキャンのやり方が、よくわからないと感じる人もいると思う。 ・実際に、私も初めて番組表を見て「10ch はどうやって見るんだろう？」と思った。 ・もう一つは、放送の内容ではないが、特に「スクール通信」は、ＥＰＧの番組表に放送している学校名が出ると、もっと興味を持ってもらえるのではないかと思った ＜委員＞ ・私どもは、屋内型コミュニケーションパークを運営しているので、年に数回、番組で取り上げてもらったり、私も度々出演させてもらうなど、非常に感謝している。 ・拝見した番組の中で、個人的に気に入ったのは「地域密着！た･ま･た･ば･こ」 この番組は、非常に柔らかい。他の番組は、真面目に作っているので見応えはあるが、やっぱり「た･ま･て･ば･こ」の柔らかさというのが非常に面白く、人を惹きつける魅力があると思った。 ・我々は、エンターテイメントの会社なので、特にそういった所が気になるので、先ほども話が出たように、テロップの出し方や構成が面白く出来ているなと感じた。 ・私も、宣伝を２０年以上やっているので、そういう業界っぽい見方をしてしまうが、なかなか面白い番組の作り方をしているなと。若い人が見ても面白いという気は非常にしている。 ・先ほど「近くの人が出演していたので見た」という意見があったが、視聴者参加型の番組があってもいいのかなと思った。一般の方はもちろん、周辺大学や企業などが参加して番組を盛り上げる企画も面白いのかなと…。 ・多摩テレビと我々企業が協力して、地域活性化に繋がるようなものを一緒に作っていければいいなと思った。 ＜委員＞ ・私は、番組を今日初めて見させて頂いたが、とても番組が丁寧に作られているなと印象を受けた。

	・別の委員が言われたように、本当に「人と人のつながり」を大事にしているなと思った。作り手の皆さんは、本当に大変だと思うが、努力されていると感じた。 ・私は教育の立場から話をさせてもらうが、地元のテレビ局として「スクール通信」は、番組を通して、幼・小・中・高・大と様々な教育現場を取り上げてもらい、助かっている。 ・教育現場は、一生懸命取り組みを行ったり、子ども達の良さを地域の方にわかってもらいたい、知ってもらいたいと思っていても、なかなか伝わらない。 ・今は、各学校がホームページで、様々な情報を提供しているが、それでも限界がある。 ・しかし「スクール通信」という番組を通して、地域の方々や社会の方々に、「教育の現場では、この様な取り組みをしていて、子ども達にはこういう良さがあるんだ」という事を伝えてもらうことで、社会全体で子どもたちを育てていく、守っていく、見守っていく、という機運が高まっていくのではないかと思った。 ・これからも番組の内容の充実を目指して頑張ってもらいたい。 ・現在、小中一貫教育を進めているので、その様な事も取材して頂ければ嬉しい。 ・そのほか、中学生が高齢者の前で合唱をやるなど社会貢献活動をしているので、その様なことも取り上げてもらえればと思う。 ＜委員＞ ・行政的な話になってしまうが、多摩テレビさんには、行政情報や地域情報を良く取り上げていただいて本当に感謝している。 ・地域の方々と話をしていると、多摩テレビさんに取材に来ていただくと、「皆さん喜んでいる」という声を聞く。ぜひ今後も続けていただきたい。 ・コミュニティチャンネルの中で私が見て良かったなと思ったのは、特別編成番組がとてもいいなと思った。特に、その中でも私は「穴澤天神社」の番組が良かった。 ・どこの地域でも、多摩市・八王子市・稲城市・町田市で、若い人が地域の担い手になるということが課題になっている中で、あの様な若い人がやっていくということを取り上げていただけるのはとても嬉しい。 ・逆にいうと、あの２週間で終わらせてしまったのは、もったいないなと感じた。 ・著作権などの問題があるかもしれないが、せっかく作ったドキュメンタリー番組なので何かの機会に再放送やネットで見られるようにして欲しい。 ・あと、多摩ニュータウンが都市計画決定してから５０周年ということで、その様な所もスポットをあてていただいた番組を作ってもらいたい。 ・市や教育委員会でも、ニュータウンの開発の記録映画があるので、協力できる事は、協力させていただきたい。 ＜委員＞ ・日曜日の１９時から「ディズニーチャンネル」の番組をコミュニティチャンネルで放映しているが、たぶん３０分程度の番組だったと思うが、それを見ている子供達は非常に楽しいと思う。 ・ただ３０分番組では短いので、もっと時間を増やす事は出来ないのか？ ・局の方に親御さんからの「時間を増やして」などのご要望はないのか？ ・それからもう一つは、アナログからデジタルに切り替えになりますよね？

	・これは放送審議会と直接関係ないかもしれないが、これらの切り替えについてどうしたらいいのかとか、手続きだとか、相談などといった質問がテレビ局の方に来ているか、その辺の状況が分かれば教えて欲しい。 ＜事務局＞ ・「ディズニーチャンネル」のコミュニティチャンネルでの放送については、有料放送へ加入して頂くための材料として、現在、子供達が見やすい日曜の１９時という時間帯で、３０分間放送している。 ・番組を供給しているサプライヤーの事情などにより、番組の使用に制約があるため、時間の延長は難しいと思う。 ・デジアナ変換については、テロップやＣＭなどで周知を図っている。 ・本番に先立ち、一度、試験的に停波した際には、「テレビが映らない」などのお叱りも含めて、お客様センターにはたくさんの問い合わせが来た。 ＜委員＞ ・まだアナログ変換で視聴しているユーザーは、どの位いるのか？ ＜事務局＞ ・多摩テレビでも現在、具体的な数は把握できていない。 ・昨年１１月に、試験的に２時間アナログ放送を停波したところ、100 件を超えるお客様から問い合わせや苦情があった。 ・ちなみに、視聴可能世帯数で割ると、１パーセント以下程度かと思う。 ・中には、何台もある家庭のテレビを全てアナログ放送で見ている世帯もあるし、何台かのうち１台だけをアナログで視聴しているという家庭もあった。 ＜事務局＞ ・補足させていただくと、「たまテレ navi２月号」一面下部に「デジアナ変換終了」のお知らせが載っている。 ・この情報誌は、契約を結んでいる方にしか届かないが、多摩テレビをご覧いただいている方は、「３月２４日正午をもって変換サービスは終了」ということが、ここで確認する事ができる。 ・なお、「10ch のスキャン方法が分からない」という指摘があったが、これも「たまテレ navi２月号」の裏面で写真付きで説明している。 ・もともと 10ch は、「テレビ埼玉」を放送していたが、変更するに当り、視聴者がスムーズに対応できるのかは大きな課題だった。 ・テレビの種類にもよるが、最新のテレビは自動スキャン機能があり、新しい放送をテレビの中に取り込んでくれるということもあるようだが、それが無い場合には、リモコンを使って再スキャンをして、新しい周波数を捕まえるという手続きが必要になる。 ・再スキャンの方法がメーカーにより様々なので、やり方を具体的に説明することができず、各メーカーにお問い合わせ下さいとか、マニュアルをご覧下さいという案内になっている。

	・これは、私どもとしても何とか解決しなければならない課題だと認識しているので、紙媒体やコミュニティチャンネルの映像媒体を活用し、皆様に適切な対応をとっていただけるような努力をしていく。 ＜委員＞ ・様々な意見が出ましたが開局から２０年を迎え、放送している番組は、どの番組もとても素晴らしい内容が多いと思う。 ・ＮＨＫでもやっているが、番組の「アーカイブ」を進めてもらいたい。 ・今までの撮影し続けてきた映像は多摩テレビにとって財産だし、地域にとっても大変貴重なものだと思うので、過去の番組を放送する「多摩テレビアーカイブス」という番組を編成してもらえれば嬉しい。 （質疑終了）
閉　会	16:00　会議終了・散会